

No.618

2026.3.16

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース

60th





第41回金属団地ボウリング大会開催

1月25日(日)、岐阜市茜部のACグラウンドにて第41回金属団地ボウリング大会を開催いたしました。当日は雪の心配もされましたが、うっすらと積もる程度で予定通り大会を行うことができ、17チーム計66名の皆様にご参加いただきました。

今回は、ボウリング場への移動に貸し切りバスを手配し、車での移動が困難な方にご利用いただきました。

定刻の9時半となり、洞田副理事長ご挨拶のあとゲーム開始。参加各チーム3ゲームを行い、楽しい時間を過ごしました。

ゲーム終了後は表彰式に移り、個人戦の飛び賞、上位入賞者、団体上位チームが発表され森田労務副委員長より一人ひとりに賞品の贈呈、その後は閉会の挨拶を行い、あたたかな拍手に包まれ大会は幕を閉じました。

各結果は以下のとおりです。参加された皆様お疲れ様でした。

このボウリング大会は金属団地の組合員企業に雇用されている方とそのご家族であればどなたでも参加できます。日頃の運動不足解消や親睦のきっかけなどに是非ご活用ください。

☆個人戦

優勝	林 敏幸 (金属団地役員)	503点
準優勝	深尾 直樹 (三島精器)	501点
3位	小栗 國男 (金属団地役員)	501点
4位	中村 球哉 (樋口製作所)	491点
5位	森 寿昭 (山村製作所)	482点
6位	加藤 清隆 (ホラタ、工業)	464点
7位	真喜 芳広 (ホラタ、工業)	457点
8位	吉田 恭平 (ホラタ、工業)	444点
9位	佐々木 宏 (ホラタ、工業)	430点
10位	鎌水 良耶 (樋口製作所)	424点

☆団体戦 (1チーム4名×3ゲームの合計)

優勝	ホラタ、工業 A	1,635点
準優勝	ホラタ、工業 C	1,600点
3位	ホラタ、工業 B	1,552点
4位	金属団地役員 A	1,551点
5位	三島精器	1,535点



個人戦優勝
林 敏幸 さん



団体戦優勝 ホラタ、工業 Aのみなさん





真偽

確か昨年末のことであったと記憶しているが、自社の代表メールアドレスに1通のメールが入ってきた。【差出人】は聞き覚えのない名前、【件名】は〇〇〇〇株式会社（※自社の会社名）となっていた。メール本文は『業務上の都合により、本メールを確認いただきましたら、業務効率向上のため、LINEグループを新規作成していただけますでしょうか』との内容。一見してピンとこず、【差出人】名をネット検索したところ、自社と同名の会社の代表取締役の名前だった。『もしかして、メールアドレスのドメインが似ていて、間違えて自社に送ってしまったのかな？』『間違いメールですよって教えてあげた方が良いのかな？』と思いつつもとりあえず放置していたが、その翌日、【差出人】の名前が“私”の名前となって、同内容のものが再び届いた。もちろん私が会社にメールを送って指示を出すようなことはないので、『何だこれは！？』と思って、【差出人】のアドレスを見ると、不規則にアルファベットが羅列したgmailで、そこでようやく何かしらの“偽メール”と気付いた。

この偽メールに対して相手とやりとりを続けていくと、最終的には金銭等の振込や個人情報の入手へと発展していく詐欺の類のもので、この数か月で急激に増え始め、実際に大きな被害に遭った会社も発生してきているとのこと。これは昔からあった手法ではあるらしいが、以前は大企業が対象相手だったものが、今になって自社のような中小企業にまで魔の手が伸びてきたようである。この金属団地においても、同タイミングで組合事務所に理事長名義の偽メールが届いていたとの話も伝わってきた。もはや至るところに攻撃がなされているのだが、実際にメール配信には今流行のAI技術が利用されているとのこと、ネット上の企業情報をもとにAIが会社の代表者や客先名を名乗って無差別攻撃をしている状況となっている。しかもAIだけに徐々に成長が見られ、最近では件名も文章も精査され、一瞥しただけでは本当のメールと偽メールとの見分けがつかないところまできているのが、驚きとともに恐ろしいと感じる。

話は変わるが、先般実施された衆議院選挙においても、SNS上で生成AIを活用したフェイクニュース、フェイク動画が溢れかえっていたという。実際に生成AIラベルが付いているものはまだしも、それがないと真偽の判断ができないほどに精巧にできているため、悪意のある切り抜き編集も含めて、偽情報に感化されて投票判断をした有権者も決して少なくはないだろう。しかしながら、AIの発達スピードに比較して、われわれ一般人のファクトチェック能力はあまりに未熟であるし、それこそしっかりしたAI規制法案ができないかぎり、当面はこの差が広がっていくように思う。

われわれ製造業では、基本的に“現物”、“モノ”が真実である。そこにはファクトチェックは必要なく、目の前の図面や部品や機械、寸法や精度が体現するものがすべてである。しかしそんな“モノ”の世界と並行して、われわれは多様な情報社会の一員でもある。これから益々、真偽の情報が入り乱れた世界になっていくことが予想される中、物事の真偽を見極める意識と自覚を高めていくことで、これからのAI高度化社会に適合していけることを願う。

赤眼鏡



ボウリング大会に参加

1月25日(日)、金属団地ボウリング大会に青年部として参加しました。青年部からは、秋田鉄工の秋田隼輔さん、サクラダ工業の横山綜大、徳田工業の徳田真二郎さん・奥様の計4名が出場。久しぶりに顔を合わせる方も多く、和やかな雰囲気の中で大会がスタートしました。結果は17チーム中9位と健闘しましたが、実は筆者である横山が思うようにスコアを伸ばせず、足を引っ張る形に……。それでもチーム一丸となって声を掛け合い、最後まで楽しくプレーできたことが何よりの収穫でした。来年こそは練習量(と体力)を増やし、青年部の名に恥じないスコアを出せるよう雪辱を誓います。



青年部工場見学

2月19日(木)、青年部研修事業の一環として、オークマ株式会社 大口工場へ見学に伺いました。世界的な工作機械メーカーとして知られる同社の生産現場を見学させていただき、ものづくりの奥深さと現場の真摯な姿勢に触れる貴重な機会となりました。

工場内には大型のマシニングセンターや複合加工機が整然と並び、高精度な部品が着実に生み出されていました。高度に自動化された設備の力強さとともに、工程ごとに行き届いた管理体制や品質への細やかな配慮が感じられ、日々の積み重ねが信頼につながっていることを実感いたしました。

中でも特に心に残ったのは、きさげ作業の様子です。熟練の職人が工具を手に、金属面を一打ずつ丁寧に仕上げている姿を間近で拝見しました。静かな作業の中に、長年培われた経験と確かな匠の技が感じられ、思わず見入ってしまいました。機械化が進む現代にあっても、最後の品質を支えているのは人の技術であることを改めて実感いたしました。

今回の見学で得た学びを、今後の活動や自社のものづくりに少しずつ活かしてまいりたいと思います。ご案内いただきました皆様に、心より感謝申し上げます。





出雲の不思議

株式会社和井田製作所 和井田 光生

私の休日の思い出は、10年前の正月に出雲へ初めて行き、“日本書紀”や“古事記”の中で出てくる神話が今も息づいている二つの不思議と出会ったことです。

■ 一つ目の不思議

神話では大国主命(オオクニヌシノミコト、通常大黒様)が出雲の国を治めていた所、天照大神(アマテラスオオミカミ)より出雲の国を譲るようにとの要請に対して一つの条件を出し受諾をしました。その条件とは『私の住む宮殿は、天照大神の御子が住むのと同じくらいに広大な宮殿を建設して欲しい』と言うものであり、出雲国に高層で壮大な宮殿が建設されることになりました。ここでの不思議とは実際にその宮殿の証拠が出たのです。

写真にあるように直径3mもの木の柱が3ヶ所、出雲大社の敷地内より2000年に見つかった事実です。これは平安時代のもので直径3m×9本の柱を使えば高さ48mの宮殿を作ることが可能で神話も全くの作り話とは言えないのではないかと思います。



▲ 1.4m×3本=直径3mの1本の柱

高さ48mの巨大宮殿創造図▶



■ 二つ目の不思議

松江市より30分位の所に“黄泉比良阪(よみつひらさか)”と言う所があります。

神話上では伊邪那岐(イザナギ)命が先立たれた妻の伊邪那美(イザナミ)命に会う為に黄泉の国(よみの国=死後の世界)の入口より入ったとされている所です。

雪が降った元旦の朝に誰もいない所に行ったのですが、非常に静かで不思議な空間でとても怖かったので早々に引揚げた訳ですが、その時に写真を撮りました。

2個の大きな岩の間が黄泉の国の入口で朝日が出ており空気のきれいな写真を期待していたのが何故かモヤっている写真が写っていました。撮ってはいけない場所を撮ってしまったと今でも感じている不思議な場所でした。

私はこの世に戻ってこれないのではないかと恐ろしくなり、この入り口には足を踏み入れませんでした。

だからこそこの記事を書くことが出来た訳ですが。

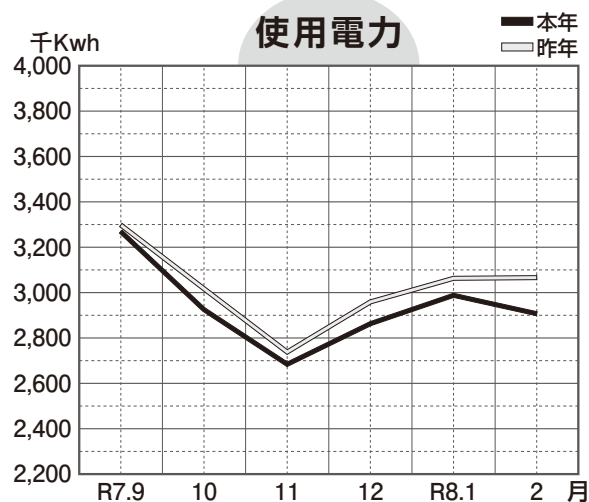
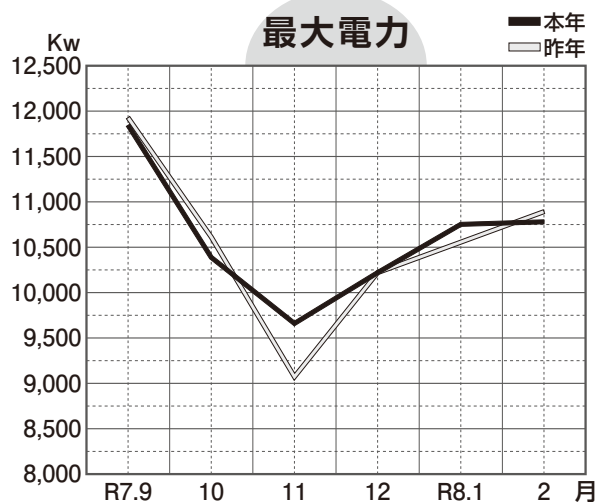
金属団地の読者の皆さんで勇気のある方は一度黄泉比良阪へ行って、あの世の入り口を試してみませんか？



撮ってはいけない、入っていけない
あの世の入口：黄泉比良阪



令和8年2月分電力使用状況



AIの「知能」が食べる、膨大なエネルギーの正体

「○○の画像を生成して!」「○○の内容をまとめて!」

今や私たちの日常に溶け込みつつある生成AI。スマホ一つで動くため、あまり実感が湧かないかもしれませんが、その裏側でどれほどの電力が消費されているか想像したことはあるでしょうか。

「ChatGPTを使ってもスマホの電池はそんなに減らないし……」と思うかもしれませんが、しかし、AIが「思考(推論)」し、新しい知識を「学習」する舞台裏では、想像を絶するエネルギーが動いています。

1. 24時間眠らない「データの工場」

AIを動かすには、巨大なサーバーを何万台も備えた「データセンター」が不可欠です。そこではIT機器が24時間フル稼働し、熱くなった機械を冷やすための空調設備も常に回り続けています。

現在、その電力の多くは化石燃料に頼っており、AIが賢くなればなるほど、大量の二酸化炭素(CO₂)が排出される仕組みになっているのです。

2. 具体的な数字で見る負荷

OpenAIの「GPT-3」というモデルは、学習だけで約1,287MWhの電力を消費しました。これは原子力発電所1基の1時間分を上回る数字です。さらに、排出されたCO₂は502トンにもものほります。

現在の最新モデル「GPT-4」では、この数字はさらに膨れ上がっているでしょう。

もっと身近な例で言えば、「AIで画像を1枚生成するエネルギーは、スマホをフル充電する1回分に相当する」という試算もあります。

3. 便利さの代償と、止まらない欲望

かつて2011年の震災後、私たちは「脱原発・節電」を強く叫びました。しかし、今より便利で豊かな暮らしを求める中で、その声は薄れつつあります。蒸気機関、自動車、インターネット……。人類は文明を進化させるたびに、エネルギー消費の記録を塗り替えてきました。

人間の「知性」さえも手に入れようとする今、私たちはどこまでエネルギーを使い続けるのでしょうか。資本主義という終わりのないレースの中で、私たちは立ち止まる術を失っているのかもしれない。

行事予定

2026 **3** March

16 月	月例会 役員会
17 火	
18 水	
19 木	
20 金	『春分の日』 『組合休日』
21 土	『組合休日』
22 日	
23 月	
24 火	編集委員会
25 水	
26 木	
27 金	
28 土	団地G 『組合休日』
29 日	
30 月	
31 火	

2026 **4** April

1 水	
2 木	
3 金	
4 土	『組合休日』
5 日	
6 月	
7 火	
8 水	
9 木	
10 金	
11 土	『組合休日』
12 日	
13 月	
14 火	青年部定時総会
15 水	

■ 4月の行事予定

- 4月20日 月例会 (12:00～) ・ 役員会 (12:30～)
- 4月24日 第1回選挙管理委員会 (※予定)

■ 5月の行事予定

- 5月11日 環境委員会 (11:00～) 労務委員会 (12:00～)
- 5月12日 業務委員会 (11:00～) 総務委員会 (12:00～)
- 5月13日 財務委員会 (12:00～)
- 5月14日 監査 (10:00～)
- 5月15日 役員会 (12:00～)
- 5月18日 第2回選挙管理委員会 (※予定)
- 5月28日 通常総会・懇親会
- 5月30日 総会記念ゴルフ

■ 2月度金属団地ゴルフ会

- 2月28日 東建塩河カントリー倶楽部
優勝 森田吉久(テクノ共栄) 2位 林 宏守(中日鋼線) 3位 松原伸五(MTK)



G-MECCA

Gifu Metal Engineering Community Cooperative Association

<http://www.g-mecca.jp>

